

東京メトロ丸ノ内線中野新橋駅改良計画について

1. 東京地下鉄株式会社(東京メトロ)では、中野新橋駅の駅舎老朽化による駅舎改裝とあわせてバリアフリー化等の検討を進めている。駅舎の構造から一部階段昇降機を利用することになるがエレベーターや多機能トイレの整備によりバリアフリー化を進めることとしている。

2. 整備の概要について

(1) 駅舎改良

- ・ 1階：改札、券売機、男女別トイレ、多機能トイレ、お客様救護スペース
- ・ 2階：駅事務室（1階から移設）駅員宿泊施設等
- ・ 3階：電気室（地下から移設）

(2) バリアフリー整備

- ・ 改札階と地下中一階を結ぶエレベーター（11人乗り）を新設する
- ・ 上部階段の一部を撤去し、地下中一階からエレベーターへの通路を整備する
- ・ 地下中一階とホームを結ぶ下部階段に階段昇降機を設置する
- ・ 男女別トイレとは別に多機能トイレを整備する
- ・ 駅舎と歩道との段差解消する

(3) その他

- ・ ホームの冷暖房整備

3. 改良計画地域説明会

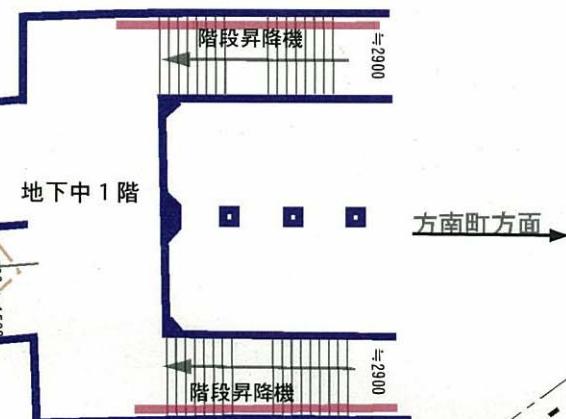
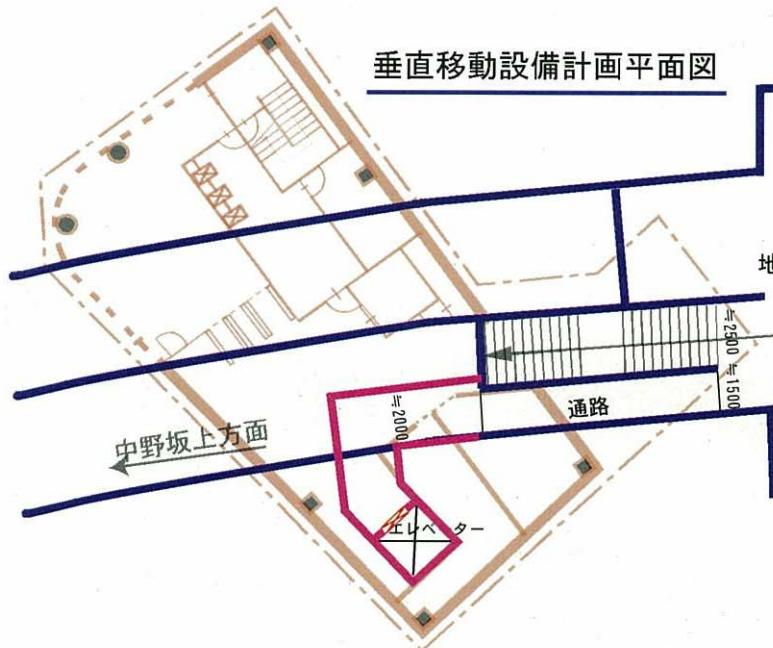
- ・ 日 時：平成 19 年 11 月 16 日（金） 午後 7 時から
- ・ 会 場：弥生地域センター

4. 整備スケジュールについて

- ・ 平成 20 年度 実施設計、着工
(工事期間は着工から 4 年間を予定している)

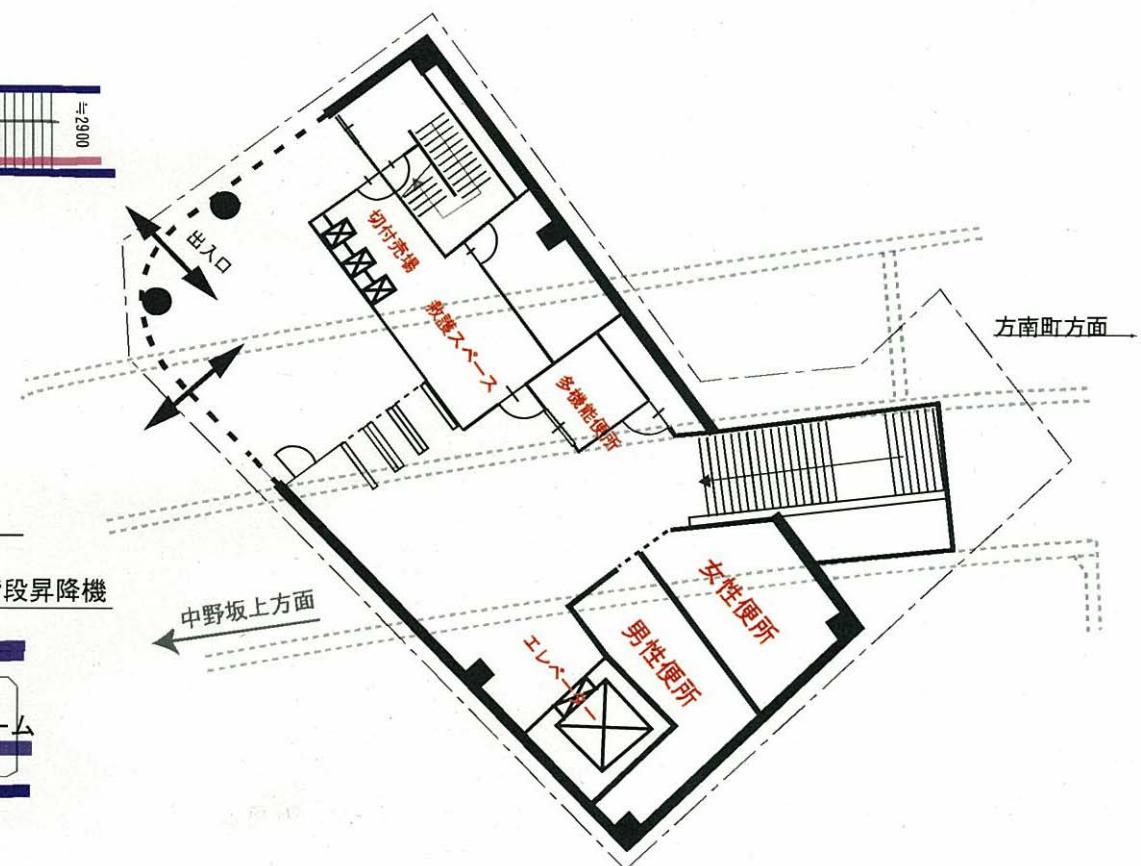
中野新橋駅改良計画案

垂直移動設備計画平面図



※イメージ図です。詳細設計により変更する場合があります

1階平面計画



断面図

